

航空機・ロケット部品から 精密部品までカバー



株式会社大阪工作所

部品加工は精度 1μm

大阪工作所の取扱製品は実に幅広い。航空機や日2ロケットの部品からIT関連の精密部品、多軸のスピンドルユニット等多岐にわたる。守備範囲の広さが同社の強みだ。取扱製品の50%を占める部品加工は、精度1μmの仕上がりを誇る。世界に20台しかないという高精度加工の機械、その1台を同社が保有し製品の完成度を高めている。

特に航空機等、安全性が求められる分野では、高い品質が要求されるが、同社は川崎重工工業航空宇宙カンパニーの認定工場である。厳しい審査をパスし、ボーイング社B777の胴体や主翼の部品を製造している。その一方で、様々なアセンブリや産業機械の開発も行っている。

全数検査で安心を提供

「大きいものから小さいものまでできるのが、うちの強みです」と高田克己社長は言う。自社開発商品に



は、食品トレーの除塵・袋詰を行う「自動除塵包装機」や1時間に3万个の丸い氷を作ることができる「ボールアイスカッター」等ユニークな商品があり、いずれも市場でのシェアは100%を占める。

開発のきっかけは、顧客との何気ない会話から始まるという。「困りごとがあると、うちに言ってくる」と笑うが、篤い人情が、その期待に応えようと動き出す。顧客の夢と自社ブランドを作りたいという社長の夢が一致した結果が、製品となっている。

「いいものを提供するのは当たり前」その精神は、「全数検査」の徹底にも現れている。その姿勢が、高い信頼と安心を与えているのだ。

製作実績1000台を支える 25人の多能工

専用工作機械の製作だけでも今までに1000台を超える実績を持つ大阪工作所だが、それを支える従業員は25人。そのほとんどが製造に携わったことはなかったという。

「工業高校で3年かけて習うことを、うちでは入社半年で教え込みます」と語る高田社長。ものづくりはまず人づくりから始めるのが同社の方針だ。そのために独自の教育カリキュラムを組んでいる。

熟練工が技の伝達をするだけでなく、先輩が後輩を教える等力量に応じた指導を任せている。幅広いニーズに応えるためには、多くの技術をマスターしないといけない。そのためにも、時間をかけて多能工を育てて

けるのだ。設計から仕上げまでをやり遂げてこそ、味わえる達成感を教え込む。

同社は、未来のものづくり現場を支えるために、高校生のインターンシップの受け入れにも力を入れている。大阪府が実施する「デュアルシステム」に協賛し、毎年高校生を指導し、ものづくりの楽しさや社会の仕組み等を教えている。「子どもがやりがいを見つけてくれる姿がうれしい」と話す高田社長。そこにはものづくりに込める熱い思いがあった。

主な事業内容

専用工作機械
製造・産業機器
の開発・製造・IT
工作機械・機
械、航空機部
品の加工等



高田克己さん
代表取締役

Company Profile

株式会社大阪工作所

住所 / 〒578-0985
大阪府東大阪市中野南1-34
創業 / 昭和14年4月
資本金 / 6,800万円
従業員 / 25名 (平成21年1月現在)
TEL / 072-962-1515
FAX / 072-964-8634

全国
20

<http://www.osaka-kousaku.co.jp/>